

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

令和7年度上田市まち・ひと・しごと創生推進交付金計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県上田市

3 地域再生計画の区域

長野県上田市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の国勢調査人口は、2000年の166,568人をピークに減少に転じ、2020年には154,055人となっている。国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、今後とも減少傾向が続き、2050年には総人口が約121,000人となる見込みである。

年齢3区分別の人口は、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向にあり、一方で老年人口（65歳以上）は増加傾向にある。1995年には老年人口が年少人口を上回り、少子高齢化が進展している。2020年における年少人口18,338人、生産年齢人口86,410人に対し、老年人口は47,130人と全体の約3割に達し、2050年には約4割にまで達すると予想されている。

出生数と死亡数の自然動態の推移を見ると、2001年までは出生数が死亡数を上回り自然増となっていた。しかし、出生数は年々減少し、一方で高齢化により死亡数は年々増加していることによって、2002年を境に死亡数が出生数を上回るようになり自然減へと転換し、2022年には1,126人の自然減となっている。なお、合計特殊出生率の推移を見ると、1985年の1.94をピークに、2022年には1.37まで減少している。

転入数と転出数の社会動態の推移を見ると、2022年は転入者（4,854人）が転出者（4,696人）を上回る社会増（158人）であった。本市の人口の減少は、出生数の減少（自然減）を補えるだけの社会増がないこと等が原因と考えられる。

このような人口減少・超高齢社会の急速な進展は、地域コミュニティ存続への影

響や地域経済の縮小など、地方で生活を営む上で様々な分野に深刻な影響を及ぼすことが懸念される。

これらの課題に対応するため、将来にわたる活力の維持と成長に向け、地域の魅力向上と人口減少に歯止めをかける取組を推進していく必要がある。

本計画では、まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体化した「第二次上田市総合計画」に掲げた将来都市像「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる 健幸都市」を実現するため、次の基本目標を掲げ、これらに沿った施策を推進する。

(基本目標)

- ・基本目標1 市民が主役のまちづくり
- ・基本目標2 安全・安心な快適環境のまちづくり
- ・基本目標3 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり
- ・基本目標4 ともに支え合い健やかに暮らせるまちづくり
- ・基本目標5 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり
- ・基本目標6 文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくり

また、時代の潮流や上田市を取り巻く背景や課題・展望を踏まえ、計画期間中に、特に重点的に取り組む5つの視点を「重点プロジェクト」として位置付け、上記の基本目標ごとにプロジェクトに沿った施策・事業を戦略的に推進する。

このプロジェクトは、6つの基本目標に横串を通す形で各分野の施策・事業を横断的に連携させ、実行していくことにより、施策効果を高める。

(重点プロジェクト)

- ・市民協働推進プロジェクト
- ・人口減少・少子化対策プロジェクト
- ・健幸づくりプロジェクト
- ・子育て支援プロジェクト
- ・最先端技術活用プロジェクト

【数値目標】

5-2 の①に 掲げる 事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2027年度)	達成に寄与する 地方版総合 戦略の基本目 標
-------------------------	-------	-----------------	-----------------	---------------------------------

	地域づくり講座・研修会開催数	講座1回・講演会1回/年	講座1回・講演会1回/年	
	地域づくりサポーター数	地域づくり人材育成講座受講者数59人	地域づくり人材育成講座受講者数150人以上	
	自治会共同集会施設の耐震化率	65%	72%	
	自治会や各種団体などで構成される住民自治組織の設立数	11組織	市内全域で設立 ※最大15組織を想定	
	学校、地域、企業などでの講演会及び研修会の開催回数	開催回数803回	開催回数800回以上	
	学校、地域、企業などでの講演会及び研修会の参加者数	参加者数36,134人	参加者数35,000人以上	
	すべての人の人権が尊重され、明るく安全に暮らせるまちだと感じる市民の割合	30.6%	35.0%	
	審議会など委員に占める女性の割合	38.3%	40.0%以上	
ア	男女共同参画社会の実現に対する市民満足度	18.8%	25.0%以上	基本目標1
	「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担を好ましくないとする人の割合	65.8%	80.0%以上	
	外国籍市民と日本人の相互理解につながるイベント開催回数	交流イベント2回	交流イベント2回	
	外国籍の子どもの育成に携わる支援者懇談会	市民ボランティアと学校関係者の懇談会2回	市民ボランティアと学校関係者の懇談会2回	
	外国籍市民のための初級日本語教室	日本語教室1講座	日本語教室1講座	
	相談員研修会への参加	研修会1回	研修会3回	
	マイナンバーカードの交付枚数率	13.2%	100.0%	
	マイナンバー制度導入によるコンビニ交付の諸証明発行件数の全交付件数に占める割合	コンビニ交付率5.6%	コンビニ交付率40.0%	
	実質公債費比率	5.4%	5.8%未満	
	将来負担比率	28.9%	40.3%未満	
	市税収納率	99.1%	99.3%	
	ホームページアクセス数	742万アクセス	900万アクセス	

	地域おこし協力隊員の定着率	100%	100%	
イ	主要河川のBOD環境基準値達成率	100%	100%	基本目標 2
	一般大気中ダイオキシン類環境基準達成率	100%	100%	
	森林整備面積	169.4ha	1,000.0ha	
	木質バイオマスエネルギー利用製品導入支援件数	15台	100台	
	ごみ焼却量	34,265トン	29,540トン	
	上田市の温室効果ガス排出量	1,233千t-CO2	30%削減	
	家庭用の太陽光発電設備出力累計	25,366kW	34,370kW	
	市道改良延長	986km	1,010km	
	市道舗装延長	1,544km	1,575km	
	市内路線バス輸送人員数	116.2万人	115.0万人	
	別所線輸送人員数	111.6万人	108.1万人	
	都市計画道路の用途地域内整備率	51.0%	52.1%	
	歩道の整備延長	174.5km	190.0km	
	橋梁長寿命化修繕工事の橋梁数	11橋	69橋	
	市営住宅の統合建替え	-	1団地	
	景観づくり協定及び景観づくり市民団体の認定件数	11件	14件	
	都市公園数	55箇所	56箇所	
	公園施設を改築・更新する都市公園数	22箇所	35箇所	
	公園・緑地の整備に対する市民満足度	36.5%	50.0%	
	上水道有収率	84%	90%	
	下水道処理場耐震化率	71%	86%	
	地区防犯協会を設立している地区数	7地区	10地区	
	シートベルト着用率	99.0%	100.0%	
	消防団員の充足率	90%	99%	
自主防災組織の防災訓練の実施率	80%	90%		
道路や交通機関などの交通網が利用しやすいと感じる市民の割合	24.5%	35.0%		
ウ	学校給食での地元農産物の使用量の割合	40.7%	41.0%	基本目標 3
	上田市地産地消推進の店認定件数(累計)	75件	80件	
	遊休農地の再生面積	60ha	74ha	

6次産業化認定事業所	3事業所	6事業所
森林経営計画など対象森林面積	11,650ha	12,200ha
森林認証林の素材生産量	5,200 m ³ /年	7,300 m ³ /年
中小企業や地場産業の育成、支援に対する市民満足度	12%	17%
起業・創業件数	42件	45件
製造品出荷額など	5,267億円	5,400億円
新技術開発支援事業・新産業創出グループ支援事業件数	7件	10件
商業・商店街の活性化に対する市民満足度	12.5%	15.0%
中心市街地の歩行者通行量	16,016人/日	16,500人/日
中心商店街の空き店舗	27件	25件
上田勤労者互助会員数	3,182人	3,650人
就業機会の提供に満足している人の割合	14.9%	25.0%
ハローワーク上田管内新規高校卒業生の地域企業就職率	6.6%	7.5%
「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証市内企業数	7事業所	20事業所
上田市観光地延利用者	448万人	600万人
上田市観光消費額	102億円	166億円
上田市外国人宿泊者	14,932人	50,000人
従業者数（全業種）	71,860人	73,000人
産業が元気なまちになっていると感じる市民の割合	12.8%	20.0%
社会移動	▲68人	213人
製造品出荷額などに対する製造業の粗付加価値額の割合	41.7%	45.0%
高校卒業就業者に占める市内就職者の割合	53.5%	65.0%
市内4大学など卒業者のうち上田市での就職割合	17.50%	19.00%
若者による創業件数	27件	35件
女性の創業件数	16件	25件
創業比率	4.32%	4.70%
農業産出額	828,000万円	830,000万円
市外からの新規就農者	5件	30件
工場など用地取得及び設置事業助成企業数	3件	15件

	民間事業者による就業体験などへの参加者数	20人	30人	
	上田・松本都市連携による輸送人員目標	2,967人	4,500人	
エ	特定保健指導実施率	75.8%	82.0%	基本目標4
	健康づくり活動に対する市民満足度	44.5%	60.0%	
	地域医療体制に対する市民満足度	32.5%	50.0%	
	認知症サポーター数	15,662人	累計23,500人	
	高齢者地域サロン設立資金助成団体数	43団体	100団体	
	地域リハビリテーション実施箇所数	151箇所	170箇所	
	地域定着支援台帳の整備数	172人	300人	
	福祉施設から一般就労への移行者数	16人	20人	
	災害時要援護者登録制度の情報更新自治会数	109自治会	241自治会 (全自治会)	
	国民健康保険特定健康診査受診率	39.4%	60.0%	
	国民健康保険税収納率	94.4%	95.0%	
	3歳児健の受診率	99.7%	100.0%	
	一時預かり保育実施園箇所数	21箇所	22箇所	
	合計特殊出生率	1.52	1.61	
	健康寿命	女性：83.19歳 男性：78.92歳	女性：83.19歳以上 男性：78.92歳以上	
	団体が取り扱う成婚者	12組	15組	
	結婚希望者登録者数	3,735人	8,500人	
一時預かり保育実施園箇所数	21箇所	22箇所		
上小医療圏域外への救急搬送率	11.5%	12.0%		
健康で長生きし豊かな人生が送れる環境が整っていると感じる市民の割合	38.9%	47.0%		
オ	特色ある学校教育の取組に対する市民満足度	23.1%	30.0%	基本目標5
	地域に開かれた学校づくりの市民満足度	34.8%	50.0%	
	長野大学の一般入試志願倍率	6.5倍	5.0倍以上	
	公民館施設利用件数	24,494件	26,000件	
	生涯学習環境が整ってい	35.0%	42.0%	

	ると感じる市民割合			
	総合型地域スポーツクラブ会員数	2,091人	2,200人	
	スポーツ環境が整っていると感じる市民割合	7.9%	30.0%	
カ	市の歴史や文化財に愛着や誇りを感じる市民の割合	61.2%	66.0%	基本目標6
	歴史や文化を大切にしたいと感じる市民の割合	51.0%	55.0%	
	文化芸術に触れ、参加する機会に恵まれていると感じる市民の割合	43.5%	45.0%	
	空き家情報バンクを利用した移住・定住者数	25人	250人	
	空き家バンク成約件数	17件	120件	
	上田地域定住自立圏 取組事業数	61事業	65事業	
	社会移動	▲68人	213人	
	移住相談件数	223件	250件	
	地域おこし協力隊員の定着率	100%	100%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生交付金（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））の活用（内閣府）：【A3017】

① 事業の名称

地域価値の向上と健幸づくりによる未来創生事業

ア 「市民が主役のまちづくり」事業

イ 「安全・安心な快適環境のまちづくり」事業

ウ 「誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり」事業

エ 「ともに支え合い健やかに暮らせるまちづくり」事業

オ 「生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり」事業

カ 「文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくり」事業

② 事業の内容

ア 「市民が主役のまちづくり」事業

・自治の推進による活力ある自立した地域社会の実現

ダイバーシティの視点を取り入れたまちづくりの人材発掘・育成と仕組みづくり、住民自治組織の周知、活動への人的・財政的支援等

・すべての人の人権が尊重されるまちづくり

多言語ワンストップセンターの充実、日本語教育体制の充実等

・地方分権にふさわしい行財政経営

AI・RPAなどのICTの活用による市民サービスの向上と業務効率化、ネーミングライツなどの市有財産活用による自主財源の確保、シビックプライドの醸成等

イ 「安全・安心な快適環境のまちづくり」事業

・豊かな環境を未来につなぐ

木質バイオマスエネルギーの利用促進、プラスチックごみの適正分別による資源化推進、食品ロスの削減と生ごみ資源化の推進、地球温暖化対策、気候変動の影響への適応策推進、再生可能エネルギー活用設備導入や断熱（改修）の推進等

・良好、快適な生活環境の形成

エコ通勤の推進、観光客が利用しやすい公共交通網のあり方検討、拠点集約型都市づくりの推進、国土強靱化地域計画の推進、空き家対策の推進、ICTを活用した災害情報の収集や分析、伝達体制や災害情報伝達手段の多様化・多重化等

ウ 「誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり」事業

・次代へつなぐ農林水産業の振興

スマート農業への支援、農福連携などの異業種交流による担い手の確保、森林経営管理制度による新たな森林管理、安定的な林業経営の支援、多様な担い手の確保・育成、都市部での上田市産木材の利用拡大等

・新たな価値を創造する商工・サービス業の振興

最先端技術導入促進などによるものづくり産業の生産性向上、キャッ

シュレス化や ICT 化によるサービスの生産性向上、ニート・ひきこもり状態にある若者への支援等

・ **魅力ある観光地づくり**

上田市観光マスタープランの策定、稼げる観光地づくりの推進、地酒・味噌・ワインなどの発酵文化の活用等

エ 「ともに支え合い健やかに暮らせるまちづくり」事業

・ **自分らしい豊かな人生を送る健康づくり**

オーラルフレイル周知による歯周病検診や歯科指導の充実、高齢者のフレイルの予防・改善、感染症に対する予防対策の推進、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施等

・ **支え助け合う地域社会をつくる**

「うえだ手話言語・情報コミュニケーション条例」に基づく障がい者支援の充実、農福連携などによる障がい者の雇用環境の整備、ひきこもり状態にあるかたへの支援強化等

・ **子どもが健やかに育ち、子育ての喜び・楽しさが感じられるまちづくり**

子育て世代包括支援センターの充実、子ども家庭総合支援拠点の設置による児童虐待防止の体制強化、子どもの貧困対策の推進等

オ 「生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり」事業

・ **次代を担う人づくり**

地域の実情に合わせた子どもたちの安全・安心の推進、学校給食施設の計画的整備と食育の推進、「信州上田学」による大学との連携講座の開催、公立大学法人長野大学の教育・研究の充実に向けた連携等

・ **新しい時代を拓く生涯学習環境の整備**

上田市スポーツ施設整備計画に基づく施設整備推進、「みる」スポーツの機会提供、国際スポーツ大会時などの各国ナショナルチームの事前合宿の誘致推進等

カ 「文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくり」事業

・ **多彩な文化芸術の継承と創造**

文化財保存活用地域計画の策定、日本遺産を活用した観光振興とシビックプライドの醸成、地域に根ざした文化活動の支援、商店街と連携し

た市民参加イベントによる交流とまちなかの賑わい創出等

・交流・連携、移住・定住促進による活力ある都市づくり

市民の郷土への愛着と誇り（シビックプライド）の醸成、地域外の人々との良好な関係創造による様々なつながりの構築、地域おこし協力隊員の受入れと定住・定着の推進等

※ なお、詳細は第二次上田市総合計画後期まちづくり計画（第2期上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略）のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度3月時点のK P Iの達成状況等を取りまとめ、7月頃に外部有識者で構成する上田市地方創生推進協議会や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめ、速やかに本市公式W E Bサイト上で公表する。

⑤ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2028年3月31日まで

5-3 その他の事業

○ 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）の活用（内閣府）：

【E 2 0 0 1】

① 事業の名称

5-2の①事業の名称に同じ。

② 事業の内容

5-2の②事業の内容に同じ。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

5-2の④事業の評価の方法（P D C Aサイクル）に同じ。

⑤ 事業実施期間

5-2の⑤事業実施期間に同じ。

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで